

## < 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

# ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第51回

アジサイ



5月頃から開花を始め、梅雨時に多くの種類が満開となるアジサイはユキノシタ科に属する日本原産の小灌木です。

アジサイはオランダ商館の医師として赴任したシーボルトが日本の妻、楠本滝（お滝さん）に因んで *Hydrangea otaksa* と命名しましたが、既に *H. macrophylla*（又は *H. hortensia*）と命名されており認められませんでした。

中国経由でヨーロッパに導入されたアジサイは品種改良が進み、西洋アジサイとして多くの品種が日本へ逆輸入されています。

以前は花を風邪薬として用いていましたが、現在では毒性があるため葉も含めて用いる事は有りません。同族のヤマアジサイから変異したアマチャは甘味料として用いられています。

本画はステップによるもので1800年半ばの作品です。



HYDRANGEA HORTENSIA

Nat. size

PL. 90